

1 共通部分・報告書

確認対象	チェック項目	基準	確認方法	確認
フォルダ・ファイル	CDラベル	ガイドラインに従っていること	目視	
	悪意のあるソフトウェアの有無	存在しないこと	ウイルス対策ソフトウェア	
	ファイル・フォルダの名称・構成・有無	エラーのないこと	国交省チェックシステム	
	XML文法	エラーのないこと	国交省チェックシステム	

¥INDEX_D.XML	ファイル名	=INDEX_D.XML	独自チェックシステム+目視	
	<適用要領基準>	=土木200805-01(or土木200406-01)	独自チェックシステム+目視	
	<図面フォルダ名>	=DRAWING	独自チェックシステム+目視	
	<写真フォルダ名>	=PHOTO	独自チェックシステム+目視	
	<測量データフォルダ名>	=SURVEY	独自チェックシステム+目視	
	<地質データフォルダ名>	=BORING	独自チェックシステム+目視	
	<報告書フォルダ名>	=REPORT	独自チェックシステム+目視	
	<報告書オリジナルファイルフォルダ名>	=REPORT/ORG ある場合は報告書フォルダ必須	独自チェックシステム+目視	
	<設計書コード>	=契約番号(9桁、ハイフンを除いた物)	独自チェックシステム+目視	
	<業務名称>	=発注データの委託業務の名称	独自チェックシステム+目視	
	<住所コード>	09201~09422(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<住所>	=委託箇所+分割番号(発注データと比較)	独自チェックシステム+目視	
	<履行期間-着手>	=履行期間の着手(西暦)(発注データと比較)	独自チェックシステム+目視	
	<履行期間-完了>	=履行期間の完了(西暦)(発注データと比較)	独自チェックシステム+目視	
	<測地系>	=00 or 01 or 02	独自チェックシステム+目視	
	<対象水系路線コード>	県内の路線河川or99999であること	独自チェックシステム+目視	
	水系(先頭が1)の場合	一級水系(一級河川、準用河川、普通河川)	独自チェックシステム+目視	
		301~303	独自チェックシステム+目視	
	路線(先頭が2)の場合	道路種別=3,4,6,9	独自チェックシステム+目視	
		路線コード(種別3)=119~123,293,294,352,400,407,408,461	独自チェックシステム+目視	
	<対象水系路線名>	=路河川名(発注データと比較)	独自チェックシステム+目視	
	<西側境界座標経度>	=1391935~1401733(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<東側境界座標経度>	=1391935~1401733(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<北側境界座標緯度>	=0361159~0370918(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<南側境界座標緯度>	=0361159~0370918(県内)	独自チェックシステム+目視	
		西側経度<東側経度、北側緯度>南側緯度	独自チェックシステム+目視	
		(範囲が狭い案件であれば西側=東側or北側=南側も可)	独自チェックシステム+目視	
	<発注者機関コード>	=事務所のコード(契約番号と比較)	独自チェックシステム+目視	
	<発注者機関事務所名>	=事務所(発注データと比較)	独自チェックシステム+目視	
	<受注者名>	=申請者(発注データと比較)	独自チェックシステム+目視	

¥INDEX_D.XML (道路台帳)	<主な業務の内容>	=3	独自チェックシステム+目視	
	<業務分野コード>	0417990が1番目にあること	独自チェックシステム+目視	
	<業務キーワード>	台帳整備が1番目にあること	独自チェックシステム+目視	

¥REPORT¥REPORT.XML	<報告書オリジナルファイル日本語名>	日本語でオリジナルファイルの内容が書かれていること	目視	
--------------------	--------------------	---------------------------	----	--

¥REPORT	報告書ファイル拡張子	=PDF	目視	
	報告書ファイル	Adobe Readerで表示可能なこと	目視(Adobe Reader)	
	しおり	存在すること	国交省チェックシステム+目視	

¥REPORT¥ORG	オリジナルファイル	開けること(一部抽出)	目視	
-------------	-----------	-------------	----	--

2 図面

確認対象	チェック項目	基準	確認方法	確認
¥DRAWING¥DRAWING.XML	ファイル名	=DRAWING.XML	独自チェックシステム+目視	
	<対象工種-数値>	=001~035(基準) or 100~999(追加)	独自チェックシステム+目視	
	<追加対象工種-数値>	図面情報に使用されていること	独自チェックシステム+目視	
	<サブフォルダ>	8文字以内	独自チェックシステム+目視	
	<図面名>	64文字以内	独自チェックシステム+目視	
	<図面ファイル名>	12文字以内	独自チェックシステム+目視	
		ライフサイクル=D or M	独自チェックシステム+目視	
		整理番号=英数大文字x1	独自チェックシステム+目視	
		図面番号=000~999	独自チェックシステム+目視	
		改定履歴=Z	独自チェックシステム+目視	
		(以上は日本語ファイル名の場合は除く)	独自チェックシステム+目視	
		拡張子=SFC(ラスターデータは除く)	独自チェックシステム+目視	
	<図面番号>	=ファイル名の図面番号	独自チェックシステム+目視	
	<対象工種-数値>(図面情報)	定義されていること	独自チェックシステム+目視	
	<格納サブフォルダ>	定義されていること	独自チェックシステム+目視	
	<測地系>	=00 or 01	独自チェックシステム+目視	
	<基準点情報緯度>	=0361159~0370918(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<基準点情報経度>	=1391935~1401733(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<基準点情報平面直角座標系番号>	=09	独自チェックシステム+目視	
	<基準点情報平面直角座標X座標>	=21000.000~129000.000(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<基準点情報平面直角座標Y座標>	=-46000.000~41000.000(県内)	独自チェックシステム+目視	
位置情報	経緯度と平面直角座標が両方ある場合、差が誤差範囲であること	独自チェックシステム+目視		
¥DRAWING	図面ファイル拡張子	=SFC(ラスターデータは除く)	目視	
	図面ファイル	SXFブラウザで表示可能なこと	目視(SXFブラウザ)	
	線色	ラスターデータがない場合黒がないこと	目視(SXFブラウザ)	

3 図面（道路台帳）

確認対象	チェック項目	基準	確認方法	確認
¥DRAWING¥DRAWING.XML (道路台帳)	ファイル名	=DRAWING.XML	独自チェックシステム+目視	
	<対象工種-数値>	=001	独自チェックシステム+目視	
	<追加対象工種-数値>	無いこと	独自チェックシステム+目視	
	<サブフォルダ>	=DRA	独自チェックシステム+目視	
	<図面名>	=道路台帳附図	独自チェックシステム+目視	
	<図面ファイル名>	12文字以内	独自チェックシステム+目視	
		ライフサイクル=M	独自チェックシステム+目視	
		整理番号=基の図面:0 測定基図:1 敷地図:2	独自チェックシステム+目視	
		図面番号=数字×3(001からの連番)	独自チェックシステム+目視	
		改定履歴=Z	独自チェックシステム+目視	
		拡張子=基の図面:SFC 測定基図・敷地図:PDF	独自チェックシステム+目視	
	<縮尺>	=1/500	独自チェックシステム+目視	
	<図面番号>	=ファイル名の図面番号	独自チェックシステム+目視	
	<対象工種-数値>(図面情報)	=001	独自チェックシステム+目視	
	<格納サブフォルダ>	基の図面:無いこと 測定基図・敷地図:DRA	独自チェックシステム+目視	
	<基準点情報>	平面直角座標で2点あること	独自チェックシステム+目視	
		2点間の距離=正規の図枠と縮尺による値 (約358.922m)	独自チェックシステム+目視	
	<測地系>	=01	独自チェックシステム+目視	
	<基準点情報平面直角座標系番号>	=09	独自チェックシステム+目視	
	<基準点情報平面直角座標X座標>	=21000.000~129000.000(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<基準点情報平面直角座標Y座標>	=-46000.000~41000.000(県内)	独自チェックシステム+目視	
	位置情報	経緯度と平面直角座標が両方ある場合、差が誤差範囲であること	独自チェックシステム+目視	
	<予備>	23文字	独自チェックシステム+目視	
		土木事務所=01~10	独自チェックシステム+目視	
		市町村コード=920011~94221	独自チェックシステム+目視	
		図面番号=000~999	独自チェックシステム+目視	
		枝番=0~9	独自チェックシステム+目視	
	年号=H	独自チェックシステム+目視		
	年=00~99	独自チェックシステム+目視		
	月=00~12	独自チェックシステム+目視		
¥DRAWING¥ (道路台帳)	図面ファイル拡張子	=SFC	目視	
	図面ファイル名	=MOPL001Zから3桁数字連番	目視	
	図面ファイル	SXFブラウザで表示可能なこと	目視(SXFブラウザ)	
	線色	黒がないこと	目視(SXFブラウザ)	
¥DRAWING¥DRA (道路台帳)	図面ファイル拡張子	=PDF	目視	
	図面ファイル名(道路台帳測定基図)	=M1PL001Zから3桁数字連番	目視	
	図面ファイル名(道路敷地図)	=M2PL001Zから3桁数字連番	目視	
	図面ファイル	開けること	目視(Adobe Reader)	
	図面用紙サイズ	=780mm*290mm	目視(Adobe Reader)	
	色	白黒2値	目視(Adobe Reader)	

4 測量 (1/3)

確認対象	チェック項目	基準	確認方法	確認	
¥SURVEY¥SURVEY.XML	ファイル名	=SURVEY.XML	独自チェックシステム+目視		
	<助言番号>	=99999999(該当なしの場合)	独自チェックシステム+目視		
	<基準点測量成果格納用フォルダ名>	=KITEN	独自チェックシステム+目視		
	<水準測量成果格納用フォルダ名>	=SUIJUN	独自チェックシステム+目視		
	<地形測量成果格納用フォルダ名>	=CHIKAI	独自チェックシステム+目視		
	<地形測量及び写真測量成果格納用フォルダ名>	=CHIKAI	独自チェックシステム+目視		
	<路線測量成果格納用フォルダ名>	=ROSEN	独自チェックシステム+目視		
	<河川測量成果格納用フォルダ名>	=KASEN	独自チェックシステム+目視		
	<用地測量成果格納用フォルダ名>	=YOUCHI	独自チェックシステム+目視		
	<その他の応用測量成果格納用フォルダ名>	=OTHRSOYO	独自チェックシステム+目視		
	<ドキュメント格納用フォルダ名>	=DOC	独自チェックシステム+目視		
	<測量区域番号>	=2桁整数	独自チェックシステム+目視		
	<測量区域名>	記入する場合は地名であること	目視		
	<区域情報>	緯度経度、直角座標どちらかまたは両方あること	独自チェックシステム+目視		
	緯度経度の場合				
	<西側境界座標経度>	=1391935~1401733(県内)	独自チェックシステム+目視		
	<東側境界座標経度>	=1391935~1401733(県内)	独自チェックシステム+目視		
		西側経度<東側経度	独自チェックシステム+目視		
	<北側境界座標緯度>	=0361159~0370918(県内)	独自チェックシステム+目視		
	<南側境界座標緯度>	=0361159~0370918(県内)	独自チェックシステム+目視		
		北側緯度>南側緯度	独自チェックシステム+目視		
	直角座標の場合				
	<平面直角座標系>	=09	独自チェックシステム+目視		
	<西側境界平面直角座標>	=-46000.000~41000.000(県内)	独自チェックシステム+目視		
	<東側境界平面直角座標>	=-46000.000~41000.000(県内)	独自チェックシステム+目視		
		西側座標<東側座標	独自チェックシステム+目視		
	<北側境界平面直角座標>	=21000.000~129000.000(県内)	独自チェックシステム+目視		
	<南側境界平面直角座標>	=21000.000~129000.000(県内)	独自チェックシステム+目視		
		北側座標>南側座標	独自チェックシステム+目視		
	位置情報	経緯度と平面直角座標が両方ある場合、差が誤差範囲であること	独自チェックシステム+目視		
	<測量区分>	32文字まで	独自チェックシステム+目視		
	<測量細区分>	32文字まで	独自チェックシステム+目視		
<測量区域No>	=2桁整数 測量区域番号に存在すること	独自チェックシステム+目視			
<等級>	=23 or 24 or 25 or 99	独自チェックシステム+目視			
<地図情報レベル>	32文字まで	独自チェックシステム+目視			

4 測量 (2/3)

確認対象	チェック項目	基準	確認方法	確認	
¥SURVEY¥***¥SURV_***.XML	ファイル名	=SURV_KTN.XML	独自チェックシステム+目視		
	<測量区分フォルダ名>	8文字まで	独自チェックシステム+目視		
	<測量成果区分フォルダ名>	8文字まで	独自チェックシステム+目視		
	<測量成果名称>	64文字まで	独自チェックシステム+目視		
	<測量成果ファイル形式>	12文字まで	独自チェックシステム+目視		
	<測量成果ファイル名>	12文字まで	独自チェックシステム+目視		
	¥SURVEY¥KITEN¥SURV_KTN.XMLの場合以下を追加				
	3級基準点の測量がある場合				
	測量成果ファイル名副題に「数値データ」を含む成果				
	<測量成果ファイル名>	=KJ[A-Z,1-9]A2[3桁数字].TXT		独自チェックシステム+目視	
	<測量区分フォルダ名>	=KITEN		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果区分フォルダ名>	=DATA		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果名称>	=成果表(数値データ)		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果ファイル形式>	=TXT		独自チェックシステム+目視	
	<測量細区分フォルダ名>	=KTN_[A-Z,1-9=ファイル名の細区分]		独自チェックシステム+目視	
	測量成果ファイル名副題に「3級」及び「点の記」を含む成果				
	<測量成果ファイル名>	=KJ[A-Z,1-9]C1[3桁数字].PDF		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果ファイル名副題>	=3級基準点の記([7桁数字])		独自チェックシステム+目視	
		成果表に同じ点名称の物が1つあること		独自チェックシステム+目視	
	<測量区分フォルダ名>	=KITEN		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果区分フォルダ名>	=DATA		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果名称>	=点の記		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果ファイル形式>	=PDF		独自チェックシステム+目視	
	<測量細区分フォルダ名>	=KTN_(A-Z,1-9=ファイル名の細区分)		独自チェックシステム+目視	
	測量成果ファイル名副題に「3級」及び「成果表」を含む成果				
	<測量成果ファイル名>	=KJ[A-Z,1-9]A1[3桁数字].PDF		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果ファイル名副題>	=3級基準点成果表([7桁数字])		独自チェックシステム+目視	
		点の記に同じ点名称の物が1つあること		独自チェックシステム+目視	
	<測量区分フォルダ名>	=KITEN		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果区分フォルダ名>	=DATA		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果名称>	=成果表		独自チェックシステム+目視	
	<測量成果ファイル形式>	=PDF		独自チェックシステム+目視	
	<測量細区分フォルダ名>	=KTN_(A-Z,1-9=ファイル名の細区分)		独自チェックシステム+目視	
¥SURVEY¥KITEN¥DATA¥KTN_A	<等級>=23の場合				
	成果表、点の記	数値データと同数のファイルがあること	目視		
	成果表、点の記の拡張子	=PDF	目視		
	成果表(数値データ)、成果表、点の記	開けること(一部抽出)	目視(Adobe Reader)		
	成果表(数値データ)、成果表、点の記	測点名が一致していること(一部抽出)	目視(Adobe Reader)		
	ファイル構成	既知点データ等が含まれていないこと	目視		
	<等級>=24,99の場合				
成果ファイル	存在すること	目視			

4 測量 (3/3)

確認対象	チェック項目	基準	確認方法	確認
¥SURVEY¥KITEN¥DATA¥KTN_A ¥KJ?A2001.TXT 成果表(数値データ)	<等級>=23の場合			
	ファイル名	=KJ[A-Z,1-9]A2001.TXT	独自チェックシステム+目視	
	記載点	既知点が記載されていないこと	独自チェックシステム+目視	
	フォーマット	データ構成、行構成、改行等が規格に合っていること	独自チェックシステム+目視	
	Z00行 フォーマット識別子	=1	独自チェックシステム+目視	
	Z00行 バージョン	=02.00	独自チェックシステム+目視	
	Z02行 測地系	=0	独自チェックシステム+目視	
	Z02行 座標系	=9	独自チェックシステム+目視	
	A01行 緯度	=0361159~0370918(県内)	独自チェックシステム+目視	
	A01行 経度	=1391935~1401733(県内)	独自チェックシステム+目視	
		緯度経度形式	独自チェックシステム+目視	
	A01行 X	=21000.000~129000.000(県内)	独自チェックシステム+目視	
	A01行 Y	=-46000.000~41000.000(県内)	独自チェックシステム+目視	
		座標形式	独自チェックシステム+目視	
	位置情報	経緯度と平面直角座標が両方ある場合、差が誤差範囲であること	独自チェックシステム+目視	
	A01行 座標系	=9	独自チェックシステム+目視	
	A01行 標高	=12~2579(県内).[m以下3桁] 省略可	独自チェックシステム+目視	
	A01行 ジオイド高	=40~44(県内).[m以下3桁] 省略可	独自チェックシステム+目視	
	A02行 等級	=23	独自チェックシステム+目視	
	A02行 縮尺係数	=0.9999~1.0001[小数点以下6桁]	独自チェックシステム+目視	
	A02行 真北方向角	=-0.16500~0.18500[秒以下1桁](県内)	独自チェックシステム+目視	
	A02行 柱石長	=x.[m以下2桁] 省略可	独自チェックシステム+目視	
	A02行 埋標形式	=0 or 1 or 2	独自チェックシステム+目視	
	A02行 標識	=0 or 1 or 2	独自チェックシステム+目視	
	A03行 方向数	=A04行の数	独自チェックシステム+目視	
	A04行 平均方向角	=0~359.59599[秒以下1桁]	独自チェックシステム+目視	
	A04行 距離	=x.[m以下3桁]	独自チェックシステム+目視	
	A04行 距離	=YYYYMMDD 省略可	独自チェックシステム+目視	
¥SURVEY¥DOC (道路台帳)	成果ファイル名(MEETSを除く)	aaabcccd a:年度 b:事務所 c:連番 d:種別	目視	
	成果ファイル	存在すること	目視	

5 ボーリング

確認対象	チェック項目	基準	確認方法	確認
¥BORING¥BORING.XML	ファイル名	=BORING.XML	独自チェックシステム+目視	
	<ボーリング名>	<>"	独自チェックシステム+目視	
	<ボーリング連番>	=1からの連番(1~9999)	独自チェックシステム+目視	
	<経度><度>	=139~140(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<経度><分>	=0~59	独自チェックシステム+目視	
	<経度><秒>	=0.0000~59.9999	独自チェックシステム+目視	
	<緯度><度>	=36~37(県内)	独自チェックシステム+目視	
	<緯度><分>	=0~59	独自チェックシステム+目視	
	<緯度><秒>	=0.0000~59.9999	独自チェックシステム+目視	
	<測地系>	=00 or 01	独自チェックシステム+目視	
	<孔口標高>	=12.00~2579.00	独自チェックシステム+目視	
	<掘進長>	=1~5桁数字.2桁数字	独自チェックシステム+目視	
	<柱状図区分>	=土質 or 岩盤 or 地すべり or その他	独自チェックシステム+目視	
	<ボーリング交換用データファイル名>	11文字以内	独自チェックシステム+目視	
		接頭語=BED	独自チェックシステム+目視	
		連番=ボーリング連番	独自チェックシステム+目視	
		拡張子=XML	独自チェックシステム+目視	
	<電子柱状図ファイル名>	11文字以内	独自チェックシステム+目視	
		接頭語=BRG	独自チェックシステム+目視	
		連番=ボーリング連番	独自チェックシステム+目視	
	拡張子=PDF	独自チェックシステム+目視		
<電子簡略柱状図ファイル名>	11文字以内	独自チェックシステム+目視		
	接頭語=BRG	独自チェックシステム+目視		
	連番=ボーリング連番	独自チェックシステム+目視		
	拡張子=SFC	独自チェックシステム+目視		
¥BORING¥DATA¥BED0001.XML	<ボーリング名>	=¥BORING¥BORING.XML<ボーリング名>	国交省チェックシステム	
	<ボーリング連番>	=¥BORING¥BORING.XML<ボーリング連番>	国交省チェックシステム	
	<ボーリング総数>	=<ボーリング連番>の総数	国交省チェックシステム	
	<テクリスコード>	TECRISコード表に存在すること(発注機関)	国交省チェックシステム	
	<経度><緯度>	形式、日本国内であること	国交省チェックシステム	
	<測地系>	=¥BORING¥BORING.XML<測地系>	国交省チェックシステム	
	<孔口標高>	=¥BORING¥BORING.XML<孔口標高>	国交省チェックシステム	
	<総掘進長>	=¥BORING¥BORING.XML<掘進長>	国交省チェックシステム	
¥BORING¥DRA	図面ファイル拡張子	=SFC	目視	
	図面ファイル名(電子簡略柱状図)	=BRG0001から4桁数字連番	目視	
	レイヤ数	=1	目視(SXFブラウザ)	
	レイヤ名	=S-BGD-BRG	目視(SXFブラウザ)	
	線色	=白のみ	目視(SXFブラウザ)	
¥BORING¥LOG	図面ファイル拡張子	=PDF	目視	
	図面ファイル名(電子柱状図)	=BRG0001から4桁数字連番	目視	
	図面ファイル(電子柱状図)	開けること(一部抽出)	目視(Adobe Reader)	
¥BORING¥PIC¥COREPIC.XML	ある場合			
	<ボーリング名>	=¥BORING¥BORING.XML<ボーリング名>	国交省チェックシステム	
	<ボーリング連番>	=¥BORING¥BORING.XML<ボーリング連番>	国交省チェックシステム	
	<コア上端深度>	=1~5桁数字.2桁数字	国交省チェックシステム	
	<コア下端深度>	=1~5桁数字.2桁数字	国交省チェックシステム	
	<コア上端深度>	=0~¥BORING¥BORING.XML<掘進長>	国交省チェックシステム	
	<コア下端深度>	=0~¥BORING¥BORING.XML<掘進長>	国交省チェックシステム	
¥BORING¥PIC	ファイルがある場合			
	画像ファイル拡張子	=JPG	国交省チェックシステム	
	画像ファイル名	=C<ボーリング連番,4桁>3桁連番	国交省チェックシステム	
	解像度	200万画素以上	目視	